

U.S. Indicators

米国 高い水準を維持し製造業部門の堅調さを示す(17年5月ISM製造業景気指数)

: 2017年6月2日 (金)

～新規受注・生産が高い水準を維持～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

ISM製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
16/05	51.0	54.8	52.7	49.3	45.0	53.3	47.0	63.5	52.5	50.0
16/06	52.8	55.6	54.8	50.0	48.5	54.9	52.5	60.5	53.5	52.0
16/07	52.3	56.1	54.8	49.3	49.5	51.8	48.0	55.0	52.5	52.0
16/08	49.4	48.9	49.3	48.7	49.0	51.2	45.5	53.0	52.5	47.0
16/09	51.7	55.0	53.3	50.0	49.5	50.8	49.5	53.0	52.0	49.0
16/10	52.0	54.1	54.4	51.8	47.5	52.2	45.5	54.5	52.5	52.0
16/11	53.5	54.8	55.6	52.5	49.0	55.5	49.0	54.5	52.0	50.5
16/12	54.5	60.3	59.4	52.8	47.0	53.0	49.0	65.5	56.0	50.5
17/01	56.0	60.4	61.4	56.1	48.5	53.6	49.5	69.0	54.5	50.0
17/02	57.7	65.1	62.9	54.2	51.5	54.8	57.0	68.0	55.0	54.0
17/03	57.2	64.5	57.6	58.9	49.0	55.9	57.5	70.5	59.0	53.5
17/04	54.8	57.5	58.6	52.0	51.0	55.1	57.0	68.5	59.5	55.5
17/05	54.9	59.5	57.1	53.5	51.5	53.1	55.0	60.5	57.5	53.5

(出所) ISM: the Institute for Supply Management

製造業景気指数は54.9 と前月比0.1%ポイント上昇

17年5月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、54.8と前月比+0.1%ポイント上昇し、高い水準を維持した(市場予想中央値54.8、筆者予想57.0)。ISM製造業景気指数は、ドル高の影響を受けながらも、国内需要の堅調さ、原油価格の上昇による石油掘削リグの稼働数の増加、世界的な需要の拡大等を背景に、米国製造業が堅調さを維持していることを示した。

総合指数を構成する項目では、生産、入荷遅延が低下したが、新規受注、雇用、在庫が前月から上昇した。新規受注は、海外受注の低下も国内受注の増加によって上昇し、高い水準を維持しており、製造業部門が堅調さを当面維持することを示唆している。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、入荷遅延(前月比▲0.40%p)、生産(前月比▲0.30%p)が押し下げ寄与となった一方で、新規受注(前月比+0.40%p)、雇用(前月比+0.30%p)、在庫(前月比+0.10%p)が押し上げ寄与となり、総合指数は前月比0.1%ポイント上昇した。

総合(全18業種、下線は拡大・縮小が2カ月以上続いたことを示す)で拡大した業種は、非鉄、家具・同関連、プラスチック・ゴム、一般機械、一次金属、食品・飲料・タバコ、電気設備・部品、紙製品、その他製造業、コンピューター・電子機器、輸送機器、化学製品、加工金属、石油・石炭、印刷・関連サポート活動の15業種となった。前月の16業種から減少したものの、引き続き多くの業種で拡大しており、製造業の拡大が広がりを見せていることを示している。一方、縮小した業種は、繊維、アパレルの2業種と前月の1業種から増加した。木材製品は前月と同様に変わらずとなった。

コンタクト先からの報告は、全般的に前向きな内容だったうえに、労働力不足などが

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

指摘された。プラスチック・ゴムは顧客の需要増により過去2ヵ月売上が増加したと指摘したほか、化学製品では農業部門の需要が非常に強いと報告された。

価格上昇圧力について、電気設備・部品では世界的な商品価格の上昇が指摘された。一方、一般機械では事業環境が安定し、競争も激しくなっていることから、コスト削減交渉が一段と激化していると報告された。

労働力不足に関して、家具・同関連で事業が堅調だが、熟練労働者が不足していると報告されたほか、加工金属では事業は活況を呈しているため従業員の獲得がますます困難になっていると指摘、食品・飲料・タバコでは工場に資格のある労働者を見つけるのが難しいと報告された。

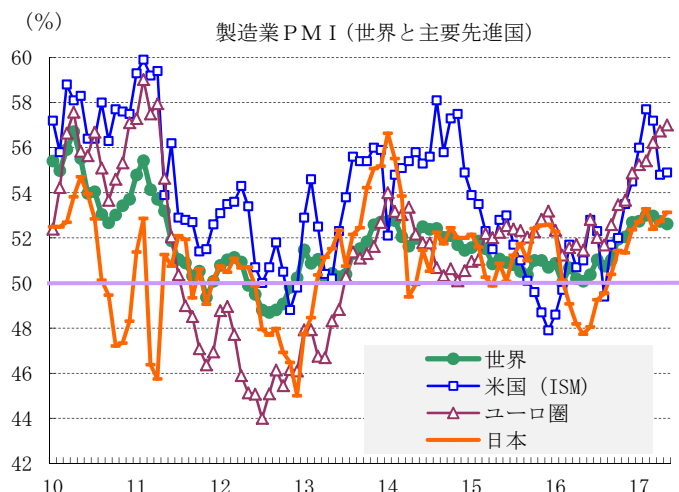
政策関連で、輸送機器では経済がまだ強いものの政治情勢で急変する可能性があると考えられたほか、紙製品ではカナダからの木材輸入に対する関税引き上げの動きを注視していると指摘するなど、政策の影響を懸念する報告もあった。

製造業景気指数はドル高の影響等により緩やかな拡大を示す水準で推移する公算

今後、雇用・所得の拡大等を背景に個人消費を中心とした国内需要が再加速するほか、世界経済の拡大が続くとみられる一方で、ドル実効レートは米国景気への楽観的な見方の高まりや利上げペース加速期待の強まり、米国への資金還流等の影響を受け、高い水準に止まると予想される。このような中で、ISM製造業景気指数は、製造業の緩やかな拡大を示す水準で推移すると予想される。



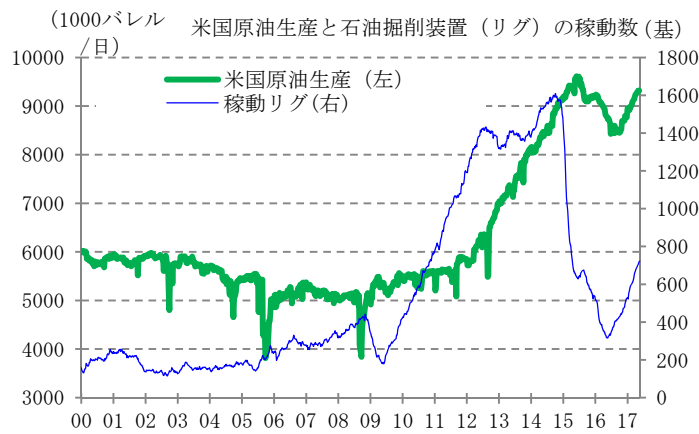
(出所) ISMデータより当社加工



(出所) ISM、IHS Markit



(出所) FRB, CME



(出所) EIA、Banker Hughes Inc.

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。